

JCダートでは牝馬は3着もなし。ならばミラクルレジェンドから

とうとう師走になった。

凱旋門賞馬デインドリームが直線で散った先週のジャパンカップは、ブエナビスタが去年の雪辱を果たして、秋競馬のフィナーレとしては、歴史に残るレースとなった。岩田騎手が涙ぐむとは思わなかっただけに、こちらもついついこみあげるものがあった。あとは、有馬記念で、なにが起こるか？ それで、すべてが決まる。

このあと何年かたって、今年を思い出すとき、東日本大震災といっしょに思い出す名馬はなにか？

阪神大震災の年の有馬記念はマヤノトップガン、ジャパンカップはドイツ馬ランドだった。ちなみにダービーはタヤスツヨシで、今年の3冠馬オルフェーヴルのように、名馬は誕生していない。もちろん、ジャパンカップダートなど当時はなかった。

今年のジャパンカップダートは、トランセンドとエスポワールシチーの一騎打ちとされる。トランセンドは、去年の優勝馬。今年はフェブラリーSを勝ち、その勢いでドバイWCでも2着した。そしてこの秋は、復帰初戦の南部杯を勝ち、前走のJBCは2着に敗れたとはいえ、その強さは本物だ。エスポワールシチーは、一去年の優勝馬。南部杯ではトランセンドに敗れたが、前走のみやこSを完勝して、ここに出走する。

どう見ても、一騎討ちで、どちらかが崩れることはあっても、両馬とも圏外に去るとは考え
難い。

したがって、馬券は、この両馬をはずす。

買うのは4歳牝馬のミラクルレジェンド。

これまでのジャパンカップダートでは、牝馬は1度も3着以内にきたことがないので、これを買
うしかない。3連勝はしているが、前2走はいずれも牝馬限定戦。これでは、どう見ても着外
だろうから、買ってみる。

ミラクルレジェンドから馬連総流し。トランセンドとエスポワールシチーはあくまで抑えて、
厚めは、ワンダーアキュート、ヤマニンキングリー、ダノンカモンの3頭。